

令和3年のテングサ作柄について

伊豆分場では、伊豆半島のテングサの作柄を予察するために、令和3年3月中旬から4月下旬にかけて稲取地区から小土肥地区にかけての計13地区、34か所でテングサの生育状況を調査しました。調査は、潜水によりテングサの着生面積・密度を観察し、各漁場内の平均的と思われる場所1㎡のテングサ重量と平均藻長の測定を行いました。各地区のテングサ生育状況は以下のとおりです。また、漁場毎の着生量と平均藻長を第1表に示しました。

- 稲取：(令和3年:平均着生量1,298g、平均藻長16.8cm 令和2年:1,280g、18.3cm) 着生量と藻長は前年並み。雑海藻が多く着生範囲に広がりはない。前年並みと予想される。
- 谷津：(令和3年:1,975g、18.2cm 令和2年:1,520g、18.8cm) 着生量は昨年よりも増加し、藻長は前年並み。水深3~8mに広く着生している。前年よりも増と予想される。
- 白浜：(令和3年:2,110g、18.5cm 令和2年:1,667g、17.9cm) 着生量は前年より増加し、藻長は前年並み。前年よりも増と予想される。
- 外浦：(令和3年:2,300g、15.0cm 令和2年:1,500g、15.7cm) 着生量は昨年よりも増加し、藻長は前年並み。前年よりも増と予想される。
- 須崎：(令和3年:2,043g、19.8cm 令和2年:1,845g、19.7cm) 着生量は前年より増加し、藻長は前年並み。前年よりも漁場に広がりが見られる。前年よりも増と予想される。
- 下流：(令和3年:1,795g、18.1cm 令和2年:2,000g、15.5cm) 着生量は前年よりやや減少したが、藻長は前年をやや上回った。二つ根岡側はオオブサ、オヨジマはマクサ主体で着生している。前年よりもやや減と予想される。
- 伊浜：(令和3年:1,395g、18.8cm) 大久保、タカンバともに広く着生しているが、着生場所はいずれも水深6~10mの深所に限られ、大岩の上部や浅所ではほとんど着生が見られない。
- 雲見：(令和3年:1,233g、13.1cm 令和2年:753g、9.9cm) 着生量は前年より増加し、藻長は前年を上回った。着生範囲は狭い。前年よりも増と予想される。
- 岩地：(令和3年:1,410g、13.1cm 令和2年:735g、11.3cm) 着生量、藻長ともに前年を上回ったが、着生は浅所の狭い範囲に限られる。前年よりも増

と予想される。

仁科：(令和3年：1,360g、11.8cm 令和2年：1,522g、11.4cm) 浮島(シヨウジ)を除いて、着生量は前年より減少したが、藻長は前年並み。おてま以外の漁場ではオバクサが多く、マクサの着生範囲は広くない。前年よりも減と予想される。

田子：(令和3年：1,870g、15.7cm 令和2年：1,295g、13.0cm) 着生量、藻長ともに前年を上回っている。オヤマ合わせでは、深所から浅所にかけて広く着生しているが、他の漁場では浅所に着生している。前年より増と予想される。

小下田：(令和3年：1,472g、11.8cm 令和2年：1,327g、11.8cm) 穴口のみ着生量、藻長ともに前年を上回っているが、それ以外の漁場では着生量は前年並み。オバクサが多く、マクサの着生範囲は広くない。前年並みと予想される。

小土肥：(令和3年：1,450g、12.7cm) 水深4～6mの大岩側面に着生しているが、着生範囲は狭い。6m以深にはオバクサが多く着生しているが、密度は低い。

以上の結果から、令和3年のテングサ作柄を以下のように予察しました。

「漁場によって着生量に増減が見られるが、県全体としては前年並み～増加と予想される。」

表1 テングサ作柄調査結果

地区	漁場名	2021年			2020年			2021年 作柄予察 (前年対比)
		着生量 (g)	平均藻長 (cm)	水深 (m)	着生量 (g)	平均藻長 (cm)	水深 (m)	
稲取	沢尻	1,160	15.2	5.8	1,200	17.4	5.8	並
	造船場下	1,400	14.1	5.8	1,500	18	6.6	
	藤三港	1,480	18.4	3.9	1,080	20.8	5.8	
	見高境	1,150	19.3	8.9	1,340	17	7.8	
谷津	千足島裏*	2,200	17.5	6.5	—	—	—	増**
	ハツロウ	1,750	18.9	5.6	1,520	18.8	8.6	
白浜	釜の下	2,000	18.4	2.9	1,600	18.1	5.0	増
	板見増殖場	1,430	15.9	7.4	1,400	16.9	7.3	
	八代	2,900	21.2	4.0	2,000	18.8	4.8	
外浦	釜の浦	2,300	15	3.1	1,500	15.7	4.8	増
須崎	イケンダ	1,880	18.8	3.9	1,540	20.9	3.1	増
	中間	2,550	21.4	3.5	2,150	18.5	6.0	
下流	オヨジマ	2,750	20.7	3.6	3,200	18.9	3.6	やや減
	二つ根岡側	8,40	15.4	4.3	800	12	4.7	
伊浜	大久保*	1,190	17.4	8.8	—	—	—	—
	タカンバ*	1,600	20.4	9.9	—	—	—	
	島内	850	13.6	3.2	930	10.7	4.1	
雲見	イガミ島*	—	—	—	840	8.9	7.1	増**
	ミツイシ沖*	—	—	—	490	10.2	11.0	
	赤島～ガッパン*	1,850	12.1	3.5	—	—	—	
	万山下*	1,000	13.8	6.5	—	—	—	
岩地	ハギヤ浜	1,700	13.8	1.5	740	12.2	2.1	増
	ノウガハマ	1,120	12.3	2.8	730	10.3	2.4	
仁科	浮島(ショウジ)	1,500	12.3	4.2	1,220	12.5	6.3	減**
	浮島(段)	1,300	13.4	2.2	1,850	11.8	1.8	
	南浜場	1,200	10.7	3.3	1,700	12.2	3.3	
	セハマ裏*	—	—	—	1,500	9.2	2.2	
	セハマ*	—	—	—	1,340	11.1	2.8	
	おてま*	2,450	11.5	4.0	—	—	—	
田子	穴口*	350	11.3	10	—	—	—	増
	シケンバ	1,160	11.8	3.9	940	10.6	3.4	
	ニノ浦	1,800	13.4	2.5	1,060	12.6	7.4	
	オヤマ合せ	3,200	23.4	7.5	2,700	18.8	9.4	
	弁天	1,320	12.9	1.5	480	9.9	5.0	
小下田	小峰	1,650	12	4.5	1,700	13.1	6.0	並
	穴口	2,050	14.7	7.4	1,560	10.7	6.0	
	町田	715	8.8	7.4	720	11.5	4.3	
小土肥	小土肥*	1,450	12.7	4.0	—	—	—	—

* 漁業者の要望により調査地点を変更した

**地区の作柄予察（前年対比）には調査地点の平均値を使用

(橋詰悠斗)